

令和2年度 第2回全国健康保険協会長野支部評議会

◇日 時：令和2年10月20日（火）10：00～

◇場 所：全国健康保険協会長野支部会議室

◇出席議員：金澤評議員、工藤評議員、更級評議員、戸井田評議員、
長瀬評議員、油井評議員（五十音順）

◇議 事

1. 令和2年度上期 長野支部事業進捗状況
2. 令和元年度決算を足元とした収支見通しと令和3年度保険料率について
3. 令和3年度 長野支部保険者機能強化予算について
4. 令和2年度 健康保険委員表彰について

1. 開会

2. 支部長挨拶

○清水支部長

皆様おはようございます。本日もよろしくお願いたします。

コロナ禍の中、各医療機関からの協会けんぽへの診療報酬の請求については、支払機関からの情報によりますと4月、5月ぐらいは、4割減ぐらまで落ちたとのことですが、最新の7月分の請求では、件数で1割減くらい、金額ベースでは4～5%減くらいにまで戻ってきています。

ただ、本日も新聞に掲載されておりました小児科等、診療科目によっては落ち込みが続いているところもあるようですので、引き続き注視してまいりたいと考えております。

インセンティブ制度について、本日の議事の中でもお諮りしますが、長野支部

の順位は昨年 20 位で報奨金約 9,000 万円を受け取ったのですが、今年は速報値で 34 位と順位を落としました。従いまして、報奨金を受け取ることが出来ません。報奨金が来る来ないは、制度のあるべき姿かもしれませんが、報奨金が来ないことについて、非常に残念で悔しい思いをしております。本年と来年は同じ指標で制度が運営されることから、もう一度しっかり対策を練ったうえで制度に臨みたいと思いを新たにしております。

さて、本日の議事ですが、来年度の保険料率と来年度の支部保険者機能強化予算がメインの議事になります。説明が長くなってしまうと思いますが、どうか率直な御意見をいただければありがたいです。本日もよろしく願いいたします。

3. 議事

(議題に入る前に前回評議会の後日回答することとなっていた質問への回答)

○千葉企画総務部長

企画総務部長、千葉でございます、よろしく願いいたします。

議題にはないのですが、前回の評議会の際に長瀬議長から御質問いただいた、昨年度の決算においての一般管理費と業務経費が全国で 1 割以上増加している理由について、回答いたします。

決算の資料に掲載されていた費用のうち、支部分については、全国の総報酬を按分して各支部に振り分ける管理会計という形で決算書を作成しております。

業務経費が伸びた 1 番大きな要因は、健診の経費が大きく伸びたことです。受診者が、昨年度全国で 774 万人から 835 万人に増えて、費用が 91 億円以上増加しております。併せて保健指導の外部委託の経費も 21 億円以上増加しております。この増加の原因は、大規模健康保険組合の解散で協会けんぽの被保険者が増加したことによります。この部分で約 1 割強費用が増加しており、これを全

国の標準報酬の総報酬で按分をしたもので長野支部の数字として出ております。

一般管理費の増加分についてですが、令和元年度に端末が更新され、その更新にかかるシステム開発やリース料で約60億円費用が増加しております。こちらについても全国で1割ぐらい費用が増加し、これを総報酬で按分をしましたところ長野支部も増えたという回答になります。

○長瀬議長

早速、真摯にご対応頂き有り難うございます。大規模健康保険組合は恐らく東京などの大都市に集中していると思われませんが、それを全国の支部の費用に総報酬按分するのは費用収益対応の原則や地域間の衡平の観点から疑問です。こういう意見があったことを伝えていただければと思います。

○千葉企画総務部長

かしこまりました。

(1) 令和2年度上期 長野支部事業進捗状況

【資料1】により、千葉企画総務部長および上村業務部長から説明
特に質問・意見等はなし

(2) 令和元年度決算を足元とした収支見通しと令和3年度保険料率について

【資料2】により、千葉企画総務部長から説明

○長瀬議長

御説明ありがとうございました。皆様から御意見を聞く前に再度確認をしたいのですが、1つ目の確認事項は、令和3年度およびそれ以降の保険料率について

どのように考えるか。平均料率がずっと10%でしたから景気の変動によって変えるということはないで中長期的な視点で考えるということでしょうか。

2つ目の確認事項はインセンティブ制度について、反映する保険料率を当初予定通り0.007%としてよいか、また、評価指標の評価方法を変更する必要があるか。

3つ目の確認事項は、保険料率の変更時期については例年通り3月、令和3年4月納付分からでよいか。この3点について皆様から御意見をいただきます。

○油井評議員

平均保険料率を中長期的視点で考えたいということで、当面10%を維持するというのは、妥当ではないかなというふうに考えます。

また、インセンティブの関係についても、コロナの影響があるとは言っても基本的に設定したことを守ることが大事だと思いますので、そのまま0.007%で来年は展開することが妥当であろうと思います。評価方法につきましては、先ほどご説明をいただき、かなり細かいレベルの話になるようですので、関係の皆様が納得してるのであれば、私の方から申し上げることはありません。

保険料率の変更時期も例年通りを維持した方が良いと思います。

○工藤評議員

基本的には良いと思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響がこの想定範囲内で収まるかどうかは現時点ではわからないのではないのでしょうか。

私どもの商売も含めて非常に今厳しい状況にあって、こういう想定をすることは難しいところだと思います。

○戸井田評議員

平均保険料率については、やはりあまり増減がないように出来るだけ一定のほうがいいと思いますのでこのまま中長期の視点でいいと思います。

インセンティブ制度について0.007%、これはもう決まっていることですのでこのまま進めていただいてもいいのではないかと、それから評価指標については、各都道府県公平になれば納得性があるのではないかと考えております。

変更時期についても特段何かということはございませんので、このままでいいかと思えます。

○更級評議員

被保険者からすれば平均保険料率は、中長期的なスタンスで保険料率を維持していくというのが一番いいスタンスだと思います。

インセンティブの関係につきましても保険料の変更時期につきましても、この原案通りでよろしいかと思えます。

○金澤評議員

全体的にも御提案のとおりでよろしいかと思えます。インセンティブ制度については、34位とポイントを落としているということなので、これをいかに自助努力で改善していくかということが今後の課題になると感じました。

○長瀬議長

ご出席のみなさんからは、ご異存はないようです。

工藤評議員もおっしゃられましたが、長期的に経済状況はどうかというのは非常に難しいですが、経済学者の予測では、コロナ対策でこれだけ財政を緩めたので、いずれ、金利や物価は上がっていかざるを得ないという話もあります。恐らくは経済的にかなり厳しい状況を予測する必要があります。そうした中、被

保険者と事業者にとっては、中長期的に保険料の負担が予測できる試算や対応策が早めに示されることが有益だと思います。

先が読めない中でも、医療費は今後も上昇が予測されることから、今後は、どの時点で保険料率を上げるかという議論のほうが現実的だと思います。

(3) 令和3年度 長野支部保険者機能強化予算について

【資料3】により、千葉企画総務部長から説明

○金澤評議員

例年通りのところで今回新規に歯科検診等を設けていただいたということで、よろしいかと思います。また、ウォーキングラリーをまた継続していただくということで、こちらをお願いしたいと思います。

○更級評議員

商工会議所としましては、健康経営セミナー等で日頃からお世話になってますので、引き続きお願いしたいと思っております。

質問ですが、お薬手帳はどのくらい作られるのでしょうか。

全体的には支部独自で決めるものですので、この通りで良いと思います。

○田邊企画総務グループ長

お薬手帳カバーについてですが、好評をいただいております、今年度は3万枚、来年度は4万枚の作成予定で予算を組んでいます。

○戸井田評議員

前回の評議会で健康レシピをいただいたのですが、職場内で評判がよかったもので、あんな立派なお金をかけるものでなくてもいいので、ぜひ健康レシピの紹介等を進めていただきたいと思います。

○長瀬議長

私から3点。まず、広報活動について、ホームページをかなり頻繁に、地域の話題をもりこんで更新されてるようで感心しています。全国一律のことが多かったので長野県の特有のことももう少し広報していただければと思っていました。

特に、感心しましたのは、健康チャレンジ宣言です。最初は100社集められるかどうか支部長をはじめ、みなさん御苦労様をされていましたが、5年経たないうちにこれだけの数の会社が宣言しているというのは、素晴らしいと思います。

それから保健指導の委託ですが、長野県内でも、地域によって、医療環境や被保険者の健康状態に、違いがあること、また、業態や職種、事業規模によっても健診受診率や疾病状況等に差異があるということを伺ってましたので、これらの違いに配慮されて、委託をしていただければと思います。

それからデータ収集です。協会けんぽの保険者機能に役立てていただきたい。特に今年は、健康診断の受診率が下がっているのも、そのことが今後の医療費にどう関わってくるのか、例年とは違った観察ができると思います。

別の言い方をすると不必要な健診が行われているかどうかもチェックできるのではないのでしょうか。長期的な分析につなげていただければと思います。以上でございます。

(4) 令和2年度 健康保険委員表彰について

【資料4】により、千葉企画総務部長から説明

○長瀬議長　　どうもありがとうございました。以上をもちまして、御提案いただきました議題は全て終了しました。皆様方から何かございますでしょうか。

それではこれで議事を終了させていただきます。今回の議事録の確認者を決めさせていただきます。学識経験者等につきましては私が、事業者代表は工藤評議員にお願いします。被保険者代表は更級評議員にお願いします。後日事務局より議事録が送られてきますので、御確認をお願いします。

それでは、事務局お願いいたします。

○司会

長瀬議長ありがとうございました。

最初に事務局から次回の開催について御連絡いたします。次回、評議会は1月を予定しています。日程につきましては、評議員の皆様の御都合をお聞きし決めさせていただきます。後日御案内をお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、今回の評議会をもって参加が最後になる方がお二方いらっしゃいます。長瀬議長と工藤評議員になります。支部長の清水からお礼の御挨拶申し上げます。

○清水支部長

お二方どうもありがとうございました。長瀬議長に関しましては学識経験者ということで、平成24年から8年間評議員をお勤めいただきました。学問の研究者として、それから、指導者としての御経験に大変救っていただきました。高い識見と皆さんも御承知の通り温かい御人柄で、長きにわたりまして評議会の議長として私どもを導いていただきました。感謝の気持ちをなかなか言葉では表しきれないですが、月並みではありますけれども、本当にありがとうございました。

それから工藤評議員でございますが、事業主代表というお立場でもって平成30年からこの2年間お勤めをいただきました。長年の実業での経験とそれから企業経営者としての視点で貴重な御意見をいただきました。お忙しい中、評議会に足をお運びいただき、本当にありがとうございました。

お二方とも今回が最後ということになるわけですが、引き続きぜひ私どもの活動に対して、アドバイスや御意見をいただければ幸いに存じます。どうか御健康に御留意なさいまして、ますます御活躍なされることを心から祈念しております。

○司会

ここで御退任される長瀬議長から先に御挨拶をいただきたいと思います。

○長瀬議長

長い間、御協力いただき、ありがとうございました。今後も協会けんぽが、働く人々とその家族の健康・福祉に貢献をされますことと、皆様の御活躍をお祈りいたします。どうもありがとうございました。

○司会

続きまして、工藤評議員も御挨拶一言頂きたいと思います。よろしく願いいたします。

○工藤評議員

保険については、少し勉強不足でろくな意見も出なかったのですが、いろいろ私なりに勉強させていただきました。ありがとうございました。御世話になりました。

○司会

御退任されるお二方に対して、全体の拍手でお礼にかえたいと思います。どうもありがとうございました。

以上をもちまして、令和2年度第2回評議会を終了いたします。ありがとうございました。